【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-150886(P2005-150886A)
【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2005-022
【出願番号】特願2003-382070(P2003-382070)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/235　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/243　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/335　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/235
Ｈ０４Ｎ　5/243
Ｈ０４Ｎ　5/335　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月10日(2006.11.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
相対的に高感度の撮像信号と相対的に低感度の撮像信号とを取得する機能を有するデジタルカメラであって、
前記低感度の撮像信号に基づく低感度撮影画像データを生成する低感度撮影モードを有し、
前記低感度撮影モード時に、前記低感度撮影画像データの低輝度領域のノイズを低減するためのノイズ低減処理を行うノイズ低減処理手段を備え、
前記ノイズ低減処理手段は、前記高感度の撮像信号に基づいて生成されるノイズ低減用信号を利用して前記ノイズ低減処理を行うものであるデジタルカメラ。
【請求項２】
請求項１記載のデジタルカメラであって、
前記ノイズ低減用信号を生成するノイズ低減用信号生成手段を備え、
前記ノイズ低減用信号生成手段は、前記低感度の撮像信号がとり得る被写体輝度の最大値に対する前記低感度の撮像信号の飽和値の比と、前記高感度の撮像信号がとり得る被写体輝度の最大値に対する前記高感度の撮像信号の飽和値の比とを略同一にするためのゲインを前記高感度の撮像信号に乗じ、前記ゲインを乗じた高感度の撮像信号を前記ノイズ低減用信号とするものであるデジタルカメラ。
【請求項３】
請求項２記載のデジタルカメラであって、
前記ノイズ低減処理手段は、前記ゲインを乗じた高感度の撮像信号の低輝度領域の撮像信号と、前記低感度の撮像信号の低輝度領域の撮像信号とを加算平均することで、前記ノイズ低減処理を行うデジタルカメラ。
【請求項４】
請求項２又は３記載のデジタルカメラであって、
前記低感度の撮像信号がとり得る被写体輝度の最大値は、前記ゲインを乗じた高感度の

撮像信号がとり得る被写体輝度の最大値よりも大きいものであるデジタルカメラ。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか記載のデジタルカメラであって、
相対的に高感度の光電変換信号を出力する第１の光電変換素子と相対的に低感度の光電変換信号を出力する第２の光電変換素子とを含む固体撮像素子を備え、
前記高感度の撮像信号は前記第１の光電変換素子から取得されたものであり、前記低感度の撮像信号は前記第２の光電変換素子から取得されたものであるデジタルカメラ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
【特許文献１】特開平４－２９８１７５号公報
【特許文献２】特開２０００－６９３５５号公報